



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

笠野原国営施設機能保全事業
現場技術業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
南部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名	笠野原国営施設機能保全事業
業務名	現場技術業務

業務別業務名:現場技術業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 1号 ***					
S02116	情報共有システム利用料		月		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	情報共有システム利用料 月額利用料...			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード(P)	地域資材(Pコード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード(J) 4)施設機械資材単価コード(K)			深夜時間:0.0		
P96001	情報共有システム利用料 月額利用料	1.000	月	11,100	11,100	
	合 計				11,100	算出数量 1.000 各単位
	単 価				11,100	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ...ライトバン,1日,1時 間, L < 100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.25日				
	8)往復移動日数	0.34日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	4,272円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	1時間 L < 100km (100km未満)				
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,390	1,390	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.700	L	162	437	
	合 計				1,827	算出数量 1.000 回
	単 価		回		1,827	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ...一般交通機関,1日,, L < 100km (100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0		
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.25日				
	8)往復移動日数	0.34日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	4,272円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54308	船舶料金 消費税抜き	1.000	人	4,272	4,272	
	合 計				4,272	算出数量 1.000 回
	単 価		回		4,272	

事業名	笠野原国営施設機能保全事業
業務名	現場技術業務

業務別業務名:現場技術業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単 - 4号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,1時間,L<100km（100km未満）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.25日				
	8)往復移動日数	0.34日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	ライトバン				
	13)高速道路往復料金（税別）	0円				
	14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	16)船舶往復1人当料金（税別）	4,272円				
	17)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	1時間				
	20)往復移動距離区分	L<100km（100km未満）				
M28121	ライトバン[二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,390	1,390	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	2.700	L	162	437	
	合 計				1,827	算出数量 1.000 回
	単 価		回		1,827	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,一般交通機関,1日,,L<100km（100km未満）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種				
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師 A 配置人員	1人				
	5)技師 B 配置人員	0人				
	6)技師 C 配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.25日				
	8)往復移動日数	0.34日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金（税別）	0円				
	14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	15)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	16)船舶往復1人当料金（税別）	4,272円				
	17)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	20)往復移動距離区分	L<100km（100km未満）				
P54308	船舶料金 消費税抜き	1.000	人	4,272	4,272	
	合 計				4,272	算出数量 1.000 回
	単 価		回		4,272	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63018	旅費交通費（設計外業日帰用）		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費（設計外業日帰用） ライトバン,1日,1時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)交通機関区分	ライトバン				
	2)高速道路往復料金（税別）	0円				
	3)鉄道往復1人当料金（税別）	0円				
	4)バス往復1人当料金（税別）	0円				
	5)船舶往復1人当料金（税別）	0円				
	6)航空往復1人当料金（税別）	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	1時間				

[illegible]

[illegible]

令和 6 年度

笠野原国営施設機能保全事業

現場技術業務

特 別 仕 様 書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

第1条（適用範囲）

令和6年度笠野原国営施設機能保全事業現場技術業務（以下「本業務」という。）の施行にあたっては、「現場技術業務共通仕様書」（以下、「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

なお、本業務は「現場技術業務の実施要領等について」（平成14年2月6日付け13農振第2788号農林水産省農村振興局長通知）別紙 現場技術業務実施要領第3の1 監督支援型による業務である。

第2条（目的）

本業務は笠野原国営施設機能保全事業における工事の設計、監督、関係機関との協議等及び事業実施に関する補助的作業を行うものであり、適正かつ効率的な事業執行と公共工事の品質確保に資することを目的とする。

第3条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- ①審査項目1～3において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ②審査項目4において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③その他、業務計画書等示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④業務成果品のミス、不備 等

第4条（管理技術者）

管理技術者は、1級土木施工管理技士、農業土木技術管理士、技術士（総合技術監理部門（農業－農業土木、農業－農業農村工学）農業部門（農業土木、農業農村工学））、シビルコンサルティングマネージャー（農業土木）、博士（当該業務に関連する学術部門）のいずれかの資格を有する者又はこれと同等の能力と経験を有する技術者でなければならない。なお、これと同等の能力と経験を有する技術者とは、大学卒13年、短大・高専卒18年、高卒23年以上相当の能力と経験を有する者をいう。

第5条（現場技術員）

現場技術員の技術者区分及び資格は、次の者とする。

技 術 者 区 分	資 格
現場技術員（C）	① 技術士（総合技術監理部門（農業－農業土木、農業－農業農村工学）農業部門（農業土木、農業農村工学））、1級土木施工管理技士、2級土木施工管理技士のいずれかの資格を有する者 ② ②と同等の能力と経験を有する者（大学卒2年、短大・高専卒4年、高卒6年以上の実務経験を有する者をいう。）

第6条（配置技術者の確認）

共通仕様書第1-6条における業務組織表の作成及び共通仕様書第1-7条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務実施計画書の業務組織表に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務実施計画書において、業務組織表を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）への技術者情報の登録は、業務実施計画書の業務組織表において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

第7条（保険加入）

受注者は、共通仕様書第1-28条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第8条（適用する図書）

本業務の実施に当たっては、次に掲げる図書等を熟知し、遂行しなければならない。

名 称	制定（改定）年月
土木工事等の契約図書	—
土木工事施工管理基準	令和3年3月改正

上記以外に必要な図書がある場合は監督職員と協議する。

第9条（工事の概要）

本業務にて対象とする工事の概要は、次表のとおりである。

工 事 名	工事場所	工期（予定）	工種・概略数量等
B幹線水路（下高隈工区）改修工事（仮称）	鹿児島県鹿屋市地内	R6.4～ R7.3	（R6発注予定工事） 管水路工 DCIP φ600 L＝400m 既設管処理工 一式
B幹線水路（東原工区）その2改修工事（仮称）	鹿児島県鹿屋市地内	R7.4～ R8.3	（R7発注予定工事） 管水路工 DCIP φ600 L＝500m 既設管処理工 一式
笠野原地区水管理制御施設更新建設工事（仮称）	鹿児島県鹿屋市地内	R7.4～ R9.3	（R7発注予定工事） 水管理施設更新 一式
幹線水路漏水復旧工事（仮称）	鹿児島県鹿屋市及肝属郡肝付町地内	随時	上記工事以外の国営管の漏水対応 一式

第10条（業務場所）

業務場所は、別添位置図のとおり予定している。なお、詳細については、監督職員と協議のうえ決定するものとする。

第11条（履行期間）

履行期間は11.3ヶ月とし、業務期間は次のとおりとする。

令和6年4月11日 ～ 令和7年3月21日

第12条（業務内容）

本業務に従事する現場技術員は現場技術員（C）とし、その業務内容は次のとおりとする。

（1）設計に関する業務

- 1）設計及び工事の積算に関する資料等の作成

2) その他上記に準じる事項

(2) 監督に関する業務

以下に示すもので、工事の契約図書で実施方法、基準等が定められており、高度な判断を要しない業務

- 1) 施工計画の検討
- 2) 工程管理の点検
- 3) 出来形管理及び品質管理の確認
- 4) 緊急を要する設計及び設計変更に関する調査及び資料等の作成
- 5) 工事施工に関する資料等の作成
- 6) 工事施工に必要な立会、観察、測定等
- 7) 工事の安全確保及び事故報告
- 8) 工事現場発生品の確認
- 9) 工事発注者に対する支給品等の確認
- 10) その他上記に準ずる事項

(3) 関係機関等との協議に関する業務

- 1) 監督職員との打合せや指示等により、地元関係者及び関係機関（県、市町、N T T、九電）等との協議・調整に必要な測量、調査又は資料等の作成を行い、その結果を監督職員へ報告。

2) その他上記に準ずる事項

(4) 事業実施に関する業務

- 1) 監督職員との打合せや指示等により、①設計・工事等の発注に係る契約図書の整理、②それらに必要な測量、調査又は資料の作成など、事業実施に関する資料の作成。
- 2) その他上記に準じる事項

第 13 条（作業上の留意事項）

- (1) 通勤用及び本業務用に自動車等を必要とする場合は、受注者において用意するものとする。
- (2) 業務履行にパソコンを必要とする場合は、受注者において用意するものとする。
なお、原則として機能等については監督職員と協議の上決定するものとするが、最新のデータに更新（アップデート）したウィルス対策ソフトがインストールされ、ウィルスチェック済みのパソコンとする。
業務期間満了等で業務に使用したパソコンを撤去する場合には、ハードディスク等のデータは完全に消去し、その結果について監督職員の確認をうけるものとする。
- (3) その他の機器、ソフト等の導入については、監督職員と協議の上、その使用について決定するものとし、業務遂行上特に必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。
- (4) 受注者からの請求により発注者が必要と認めた場合には庁舎の使用ができるものとする。
この場合、机、椅子等は貸与する。
- (5) 前項により庁舎を使用する場合には、庁舎管理上受注者は、予め本業務に従事させる現場技術員に会社名・氏名等について記載された名札を着用させるものとする。

第 14 条（情報共有システム）

- (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。

(2) 情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省 Web サイト参照）によるものとする。

【URL】 <https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/index.html>

(3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた合、これに協力しなければならない。

第15条（打合せ）

共通仕様書第1－5条による打合せについては、月1回以上行うものとし、管理技術者が出席するものとする。また、月2回目以降の打合せについては監督職員と協議の上、書面等により行うことができるものとする。

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

第16条（成果物）

成果物の提出は次のとおりとする。

- (1) 業務実施報告書 1式
- (2) 共通仕様書第2-4条から第2-19条の規定により実施した業務において作成した資料 1式
- (3) その他必要な資料 1式

第17条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県鹿屋市西原4丁目5-1

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所鹿児島支所

第18条（契約変更）

現場技術業務請負契約書第17条から第19条に規定する発注者と受注者による協議事項は、特別仕様書に示す次のとおりとする。

- (1) 第9条に示す「工事の概要」に変更が生じた場合。
- (2) 第10条に示す「業務場所」に変更が生じた場合。
- (3) 第11条に示す「履行期間」に変更が生じた場合。
- (4) 第12条に示す「業務内容」に変更が生じた場合。
- (5) 第15条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (6) 第16条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (7) その他

第19条（その他）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

令和5年度笠野原国営施設機能保全事業
現場技術業務

図面目録

図面番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
計		1	

位置図

S=1:25000



凡 例	
事業対象	
事業対象外	

B幹線水路(下高隈工区)改修工事(仮称)

B幹線水路(東原工区)改修工事(仮称)

九州農政局 南部九州土地改良
調査管理事務所 鹿児島支所

幹線水路漏水復旧工事(仮称): 上記工事以外の国営管の漏水対応

業務名	令和5年度笠野原国営施設機能保全事業 現場技術業務		
図面名	位 置 図		
作成年月日			
縮 尺	—	図面番号	1
会社名			
事業所名	九州農政局 南部九州土地改良調査管理事務所		